

騒音規制法施行令[昭和43年政令第324号]

(特定施設)

第1条 騒音規制法（以下「法」という。）第2条第1項の政令で定める施設は、別表第1に掲げる施設とする。

(特定建設作業)

第2条 法第2条第3項の政令で定める作業は、別表第2に掲げる作業とする。ただし、当該作業がその作業を開始した日に終わるものを除く。

(報告及び検査)

第3条 市町村長は、法第20条第1項の規定により、特定施設を設置する者に対し、特定施設の設置の状況及び使用の方法並びに騒音の防止の方法について報告を求め、又はその職員に、特定工場等に立ち入り、特定施設その他騒音を発生する施設及び騒音を防止するための施設並びに関係帳簿書類を検査させることができる。この場合において、法第21条第1項に規定する特定施設を設置する者に対しては、法第12条第1項、同条第2項（法第9条に係る部分を除く。）又は法第21条第3項の規定による権限の行使に関し必要と認められる場合に行うものとする。

2 市町村長は、法第20条第1項の規定により、特定建設作業を伴う建設工事を施工する者に対し、特定建設作業の実施の状況及び騒音の防止の方法について報告を求め、又はその職員に、特定建設作業を伴う建設工事を施工する者の建設工事の場所に立ち入り、特定建設作業に使用される機械及び騒音を防止するための施設並びに関係帳簿書類を検査させることができる。

附 則

この政令は、法の施行の日（昭和43年12月1日）から施行する。

[省略]

附 則[平成23年政令第364号]

この政令は、平成24年4月1日から施行する。[後略]

別表第1（第1条関係）

(1) 金属加工機械

- イ 圧延機械（原動機の定格出力の合計が22.5キロワット以上のものに限る。）
- ロ 製管機械
- ハ ベンディングマシン（ロール式のものであつて、原動機の定格出力が3.75キロワット以上のものに限る。）
- ニ 液圧プレス（矯正プレスを除く。）
- ホ 機械プレス（呼び加圧能力が294キロニュートン以上のものに限る。）
- ヘ セン断機（原動機の定格出力が3.75キロワット以上のものに限る。）
- ト 鍛造機
- チ ワイヤフォーミングマシン
- リ ブラスト（タンブラスト以外のものであつて、密閉式のものを除く。）
- ヌ タンブラー
- ル 切断機（といしを用いるものに限る。）

(2) 空気圧縮機及び送風機（原動機の定格出力が7.5キロワット以上のものに限る。）

(3) 土石用又は鉱物用の破碎機、摩砕機、ふるい及び分級機（原動機の定格出力が7.5キロワット以上のものに限る。）

(4) 織機（原動機を用いるものに限る。）

(5) 建設用資材製造機械

- イ コンクリートプラント（気ほうコンクリートプラントを除き、混練機の混練容量が0.45立方メートル以上のものに限る。）
- ロ アスファルトプラント（混練機の混練重量が200キログラム以上のものに限る。）

(6) 穀物用製粉機（ロール式のものであつて、原動機の定格出力が7.5キロワット以上のものに
限る。）

(7) 木材加工機械

イ ドラムバーカー

ロ チッパー（原動機の定格出力が2.25キロワット以上のものに限る。）

ハ 碎木機

ニ 帯のこ盤（製材用のものにあつては原動機の定格出力が15キロワット以上のもの、木工用
のものにあつては原動機の定格出力が2.25キロワット以上のものに限る。）

ホ 丸のこ盤（製材用のものにあつては原動機の定格出力が15キロワット以上のもの、木工用
のものにあつては原動機の定格出力が2.25キロワット以上のものに限る。）

ヘ かな盤（原動機の定格出力が2.25キロワット以上のものに限る。）

(8) 抄紙機

(9) 印刷機械（原動機を用いるものに限る。）

(10) 合成樹脂用射出成形機

(11) 鋳型造型機（ジョルト式のものに限る。）

別表第2（第2条関係）

(1) くい打機（もんけんを除く。）、くい抜機又はくい打くい抜機（圧入式くい打くい抜機を除
く。）を使用する作業（くい打機をアースオーガーと併用する作業を除く。）

(2) びよう打機を使用する作業

(3) さく岩機を使用する作業（作業地点が連続的に移動する作業にあつては、1日における当該
作業に係る2地点間の最大距離が50メートルを超えない作業に限る。）

(4) 空気圧縮機（電動機以外の原動機を用いるものであつて、その原動機の定格出力が15キロワ
ット以上のものに限る。）を使用する作業（さく岩機の動力として使用する作業を除く。）

(5) コンクリートプラント（混練機の混練容量が0.45立方メートル以上のものに限る。）又はア
スファルトプラント（混練機の混練重量が200キログラム以上のものに限る。）を設けて行う
作業（モルタルを製造するためにコンクリートプラントを設けて行う作業を除く。）

(6) バックホウ（一定の限度を超える大きさの騒音を発生しないものとして環境大臣が指定する
ものを除き、原動機の定格出力が80キロワット以上のものに限る。）を使用する作業

(7) トラクターショベル（一定の限度を超える大きさの騒音を発生しないものとして環境大臣が
指定するものを除き、原動機の定格出力が70キロワット以上のものに限る。）を使用する作業

(8) ブルドーザー（一定の限度を超える大きさの騒音を発生しないものとして環境大臣が指定す
るものを除き、原動機の定格出力が40キロワット以上のものに限る。）を使用する作業